

# 帆 走 指 示 書

## 第7回全日本ブラインドセーリング選手権大会

### 1. 適用規則

国際セーリング競技規則2005～2008（RSS）、日本セーリング連盟規定を適用する。

### 2. 競技者に対する通告

競技者に対する通告はレース本部前に設置された公式掲示板により行われる。

### 3. 指示書の変更

帆走指示書の変更をする場合は、レース初日は11時30分、2日目は9時までに公式掲示板に掲示される。

海上において、レーススタートの予告信号前に、運営艇より口頭で、帆走指示書の変更を伝えることがある。

### 4. 艇

艇はすべての競技者に対して準備されるが、次の場合を除き、いかなる方法でも、改造してはならず、改造されるような原因を作ってはならない。

（1）風見（紡ぎ糸やより糸を含む）を艇のどこかに結びつける、もしくはテープで留めること。

（2）艇体を水のみを用いて洗うこと。

たとえ僅かでも、装備の損傷や紛失があった場合にはスキッパーはレース終了後、直ちにレース委員会にこれを報告しなければならない。この指示事項の違反に対するペナルティはプロテスト委員会において、その競技者が指示に従うべき明らかな努力を認めない限り、その直前のレースを失格とする。

### 5. 艇の割り当て

（1）レース当日に抽選をおこない、予選レースの艇を割り当てる。

（2）予選レースの順位によりレース委員会で設定した艇を割り当てる。

### 6. 出艇申告および帰着申告

各艇のサイドッドスキッパーは、レース委員会の用意した出艇申告用紙に記入し、係員に提出すること。

各艇のサイドッドスキッパーは、初日と2日目の最後のレース終了時に海上で本部船に対して、帰港する旨を口頭で申告し、帰着後速やかに、レース委員会の用意した出艇申告用紙に記入し、係員に提出しなくてはならない。

レース委員会は全艇の出艇申告および帰着申告を確認後、その時間を公式

掲示板に掲示する。

## 7. レース形式

(1) 4艇でレースごとに1チームを交代させることによる6レースの予選を行う。

(2) 予選レースの上位4チームによる決勝を行う。

## 8. レースの日程

9月22日

11:50 予選第1レース予告信号／引き続き2・3・4レースを実施する。

9月23日

9:50 予選第5レース予告信号／引き続き第6レースを実施する。

11:50 決勝第1レース予告信号／引き続き2・3レースを実施する。

なお、レースの進捗によってはレース日程の前倒しを行う。

また、1日目16:30以降、2日目14:00以降の予告信号は発せられない。

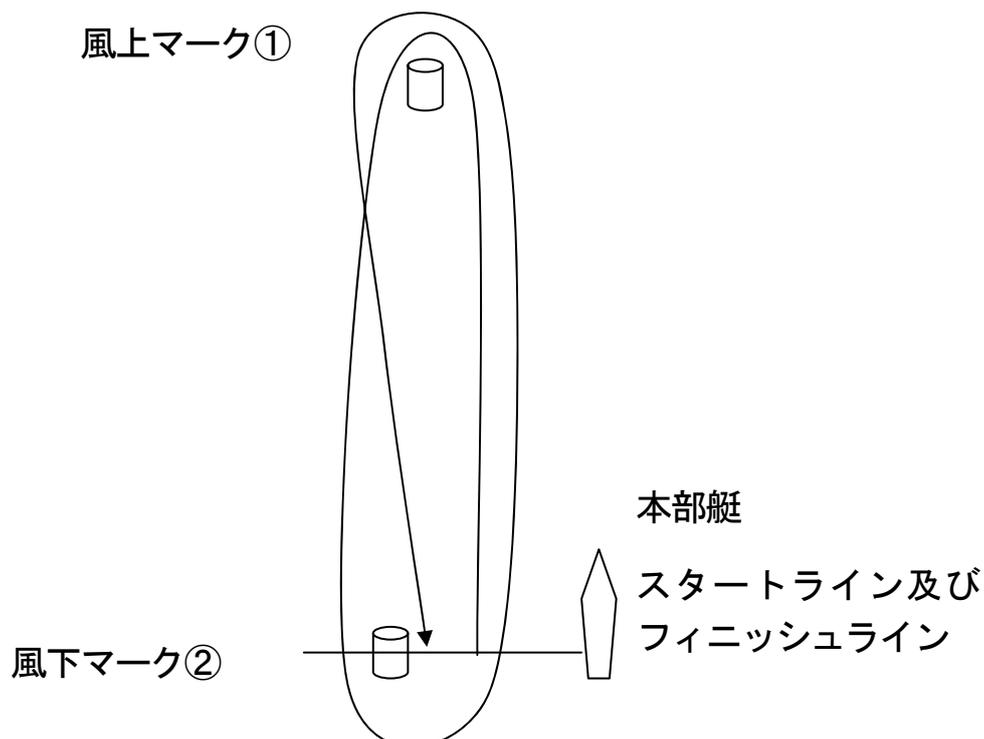
## 9. クラス旗

クラス旗はJBSA旗を使用する。

## 10. レース・エリア

レース・エリアは浜名湖遊走区域内とする。

## 11. コース



(1) スタート→①→②→①→フィニッシュのソーセージコースとする。

## 12. マーク

風上マーク①、風下マーク②は、いずれも円柱型のブイを使用する。  
マークは反時計周りとする。

## 13. スタート

レースは、RRS 26を用いて、予告信号をスタート信号の5分前としスタートさせる。

スタートラインは本部艇のマストと風下マーク②の間とする。

信号は黄色旗を掲げた本部艇から発する。

スタート信号後4分以降にスタートする艇はDNSと記録される。

## 14. リコール

リコールは、X旗を掲げ音響1声を発する。X旗の掲揚時間は4分間または全てのリコール艇が解消するまでのいずれか早いほうとする。リコール艇はスタートラインを切りなおすことによりリコールを解消できる。

## 15. ゼネラルリコール

ゼネラルリコールの場合、第一代表旗を掲げ、音響2声を発する。

ゼネラルリコール後の新しい予告信号は、第一代表旗降下後1分後とする。

## 16. スタートの延期及びレースの中止

スタート延期の場合は音響2声と共にAP旗を掲げる。レース再開の際、音響1声と共にAP旗を降下し、その1分後に予告信号を発する。レース中止の場合、音響3声と共にN旗、またはN/H旗、またはN/A旗を掲揚する。

## 17. マークとの接触

マーク接触の違反をした艇は、1回のタックと1回のジャイブを含む1回転を行うことによって違反を解消できる。

## 18. コース短縮

コースを短縮する場合は、運営艇にS旗を掲げ音響2声を発し、全てのレース艇に口頭で伝達する。

## 19. 次のマークの変更

次のマークを変更した場合は、運営艇に反復音響信号と共にC旗を掲げ、全てのレース艇に口頭で新しいコンパスコースを伝える。

## 20. フィニッシュ

フィニッシュラインは、本部船を左に見た、風下マーク②との間とする。

## 21. タイムリミット

タイムリミットはトップ艇フィニッシュ後15分とする。

## 22. 抗議

レース艇は他の艇に抗議することができる。抗議する場合は、相手艇に抗議するむねの意思表示をして、赤色旗を目立つように掲げなければならない。

い。フィニッシュ後直ちに運営艇に口頭で、抗議の意思と相手艇のボートナンバーを申告しなければならない。抗議は所定の抗議書に必要事項を記入しその日の帰着後速やかにレース委員会に提出しなければならない。抗議締め切りは全艇帰着確認後30分とし、抗議に関わる事項は抗議締め切り後1時間以内に公式掲示板により通告する。

抗議の当事者ならびに証人等は指定された日時に審問室（レース本部）の前で待機すること。

抗議書はレース委員会で購入できる。

### 23. 救済

貸与した艇、リグ、セールなどがレース中に破損または使用不能になった場合、乗員の取り扱いに問題がなかった場合に限り、運営艇に口頭で申告した後、所定の文書（抗議書）により救済の要求ができる。締め切り時間は全艇帰着確認後30分以内である。

プロテスト委員会の審問の後に最終判決が下される。

### 24. 得点

RRS付則Aの低得点方法を適用する。予選において待機したチームの得点は0とする。

予定された予選6レースが完了すれば本シリーズは成立する。

予選レース全ての総得点でレースの順位が決定される。

実施された決勝レース全ての総得点でレースの順位が決定される。

総得点がタイとなった場合、直接対戦した最後のレースで上位の艇を総合上位とする。

### 25. 失格に代わるペナルティ

失格に該当する違反をした艇は、同一方向で2回のタックと2回のジャイブを行うことにより、失格を免れることができる。

### 26. 賞

1位から3位までの艇の乗員全員に賞が与えられる。

### 27. 運営艇

本大会の運営艇はピンクのフラッグを掲揚している。

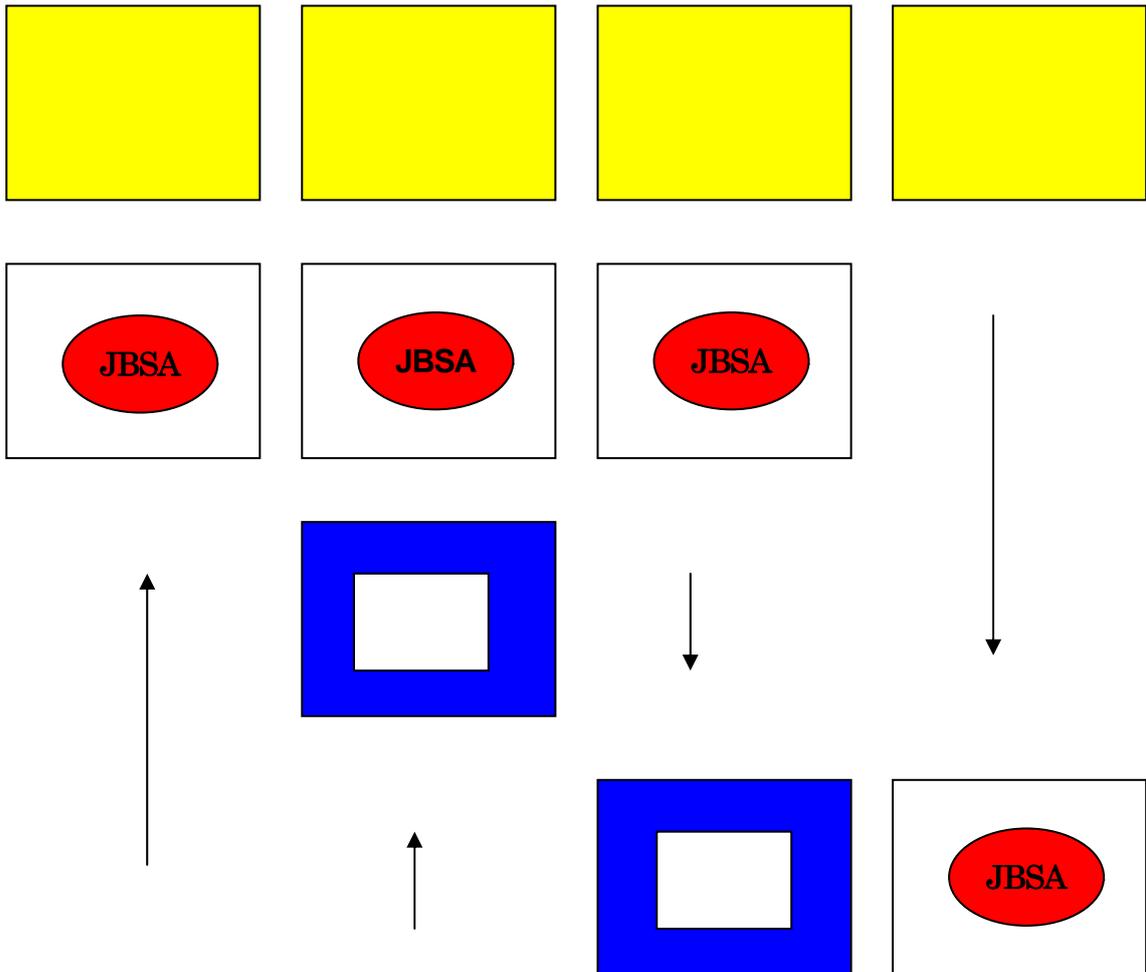
### 28. 責任の否認

競技者は、完全に自己のリスクでレガッタに参加している。主催者はレガッタ前、レガッタ中またはレガッタ後と関連して受けた物的損傷または個人の負傷もしくは死亡に対する責任を否認する。

レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任はその艇のみにある。

スタート手順

黄色のフラッグは本部船のスタート旗



5分前

JBSA旗掲揚  
音響（長音1声,  
短音5声）

4分前

P旗掲揚  
音響（長音1声,  
短音4声）

1分前

P旗降下  
音響（長音1声,  
短音1声）

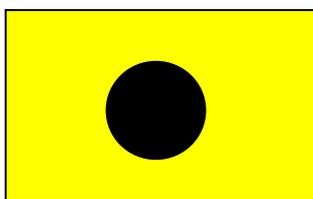
スタート

JBSA旗降下  
音響（長音1声）

3分前：音響（長音1声，短音3声）， 2分前：音響（長音1声，短音2声）

注意

P旗とともにI旗が掲揚された  
場合はラウンジエンドルール



黒色旗が掲揚された場合は  
1分間ルール

